

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS

令和7年
第1回 定例会

会期：2月26日～3月27日の30日間



No.272 令和7年5月13日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

目次

- 代表質問…………… 2～3面
- 一般質問…………… 4～6面
- 会期日程…………… 6面
- 予算特別委員会…………… 7面
- 定例会活動報告…………… 8～9面
- 可決した意見書…………… 9面
- 委員会で取り扱った請願・陳情等… 10～11面
- 議案の審議結果等…………… 12面

トップニュース

TOP NEWS

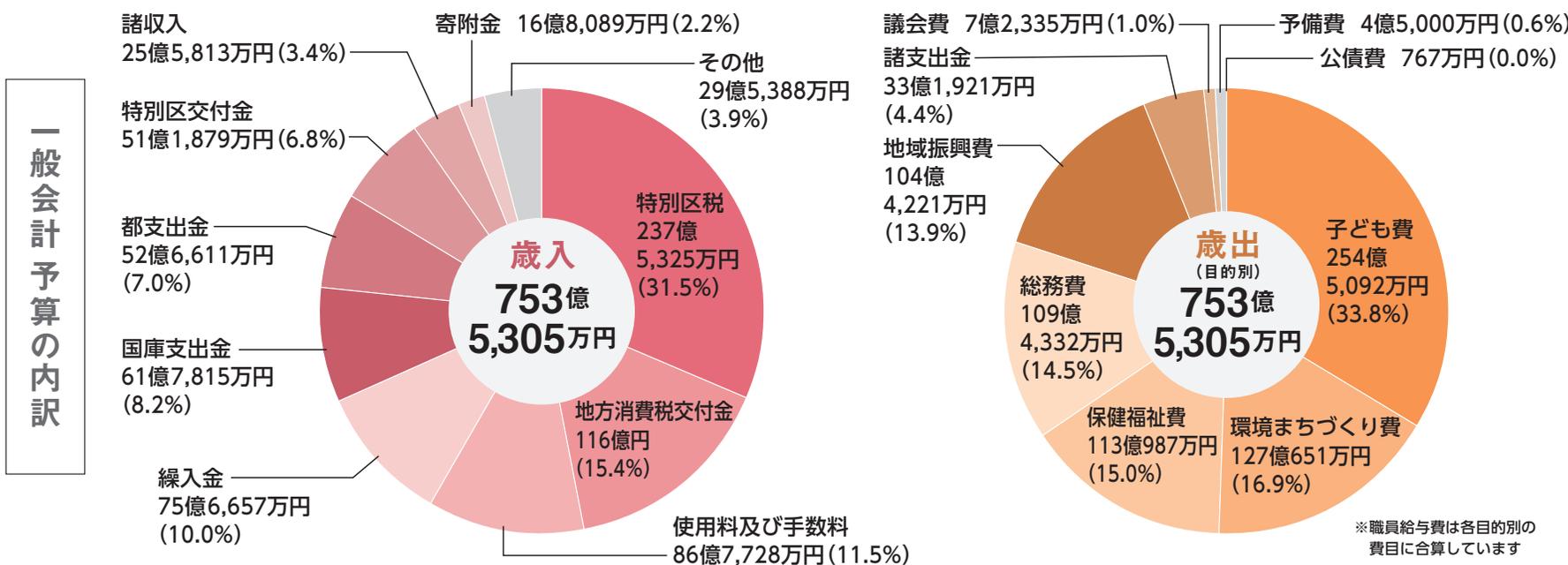
令和7年度

一般会計・当初予算を可決

令和7年度の一般会計予算は、「未来を拓き、区民生活の安心と幸せにつなげる予算」として、「子ども・子育て支援施策」「高齢者施策」「持続的に発展するまちづくり」「デジタル技術の活用」の4つをテーマに編成されています。

一般会計 753億5,305万円

前年度対比 57億7,744万円増



予算が決まるまで

区の1年間の仕事に必要なお金は、新年度が始まる前の本会議で決定されます。税金などのお金をどのように使うかを区長がまとめた「予算案」に対して、議会が内容を審査する「予算審議」を行います。

- 1 議案(予算案)提出** 区の当初予算案が確定すると、第1回定例会で、区長から議案として提出されます。
- 2 議案付託** 提出された予算案は、予算特別委員会設置後、同委員会に付託されます。「委員会に付託」とは、議決に先立ち、所管の委員会に議案等の専門的な審査や調査をゆだねることです。
- 3 予算特別委員会** 予算審査のため特別に設置される委員会です。千代田区議会では、さらに常任委員会別の3つの分科会を設置し、予算案を詳しく調査した上で審査し、委員会として意思決定するための表決を行います。
- 4 委員長報告** 委員会での審査結果を、委員長が本会議で報告します。
- 5 議決** 本会議で賛成か反対のどちらかに議会の意思を決定する議決を行います。予算を可決すると、区の「当初予算」が成立します。
- 6 予算成立・執行** 予算が成立すると、4月から執行が可能になります。年度途中で変更が必要になった場合は、「補正予算案」が組まれます。

お知らせ

2月2日に、区長選挙と同時に行われた区議会議員補欠選挙により、新たに区議会議員となったふかみ貴子議員の所属委員会等が議長より指定・指名されました。



ふかみ貴子

環境まちづくり委員会
デジタル・トランスフォーメーション
特別委員会



Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

#次世代・都民ファースト・立憲の会 富山 あゆみ



令和7年度区政運営方針・出張所改革について

問 ①担い手不足の中での行政サービス維持には改革の計画と実行が必要②地域重視の行政運営に向けた出張所の組織変革の考えは。

答 ①地域住民やNPO法人等と連携を深め多角的な視点で課題解決に取り組むほか、真に必要な行政サービスを見極める②本庁との連携を強化し地域コミュニティ支援に特化した人材活用も研究する。

インバウンド対策・ゴミ対策について

問 訪日外国人旅行者数は過去最高を記録①区の治安、安心安全を守り続けるための取組みと課題は②ゴミ回収のコスト低減や効率

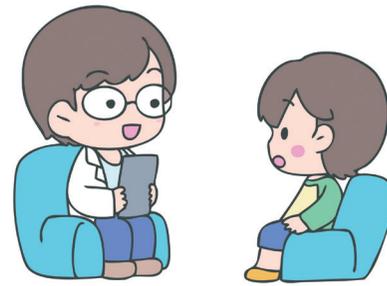
向上にIoT技術を活用したスマートゴミ箱導入の検討を。

答 ①英語版路面喫煙禁止シート設置等を実施、ポイ捨て禁止等の周知方法も検討②ゴミ排出指導等を検証、新技術活用も検討する。

子どものメンタルヘルスについて

問 ①適切なメンタルケアがすぐには受けられない状況を認識しているか②区には様々なメンタルケア機関があるが連携に課題がある。SSRへの入室基準を定める等、区民が分かりやすい運用を。

答 ①ケアの必要性が増大する中、充足していないと認識。引き続き関係機関と連携し体制を確保②学校ごとに実態が異なるため画一的な運用はせず、混乱を生じさせない運用を推進していく。



出所：議員本人提供

千代田区議会 自由民主党 大坂 隆洋



町会等のコミュニティ支援

問 ①現行の町会支援策における課題は②区長が目指す地域コミュニティの理想像と実現の道筋は③祭礼文化の継承支援への見解は④商店会支援の方策は⑤神保町古書店街の存在意義への認識は。

答 ①支援と町会の実情との検証等②住民・企業等が交流・連携し課題解決と魅力向上に取り組むことが理想像。今後実態把握等で支援策を検討③文化財保存やコミュニティ醸成の観点から支援の在り方を研究④特色に応じ検討⑤区が誇る商業文化の拠点。

少子化対策と子育て支援

問 ①少子化対策の基本的な考え方は②国・都等と連携した施策展開が必要。見解は③通学路等安全対策は④遊び場確保の方策は。

答 ①総合的な子ども・子育て支援施策の充実②国・都と考えは合致の認識の下で連携が必要③迅速な警察等への情報提供や防犯カメラ設置を進める④事業を総点検し、重要課題として取り組む。

高齢者福祉施策

問 高齢者人口の増加を踏まえ①高齢者福祉施策、地域包括ケアシステムを進めていく上での課題②高齢者施設整備計画は妥当か。

答 ①つながりを持たない高齢者を支え合う地域社会の確立②特別養護老人ホームの供給数に問題はなく、他区と比較しても高水準。



千代田区議会自由民主党議員団 永田 壮一



樋口区政の総括と来年度予算編成方針

問 ①1期目の総括と成果の特徴は②2期目の具体的方向性は③事業のバランスと公平性への考えは④給付金の在り方への考えは。

答 ①コロナ禍からの復興、子ども、女性、障害者、高齢者施策、脱炭素社会、文化振興等諸課題に対策を講じた②引き続き難局を一つひとつ乗り越え魅力ある千代田をつくる③各世代のニーズを把握し実効性ある施策を実施④現物給付を基本に柔軟に対応。

公共施設整備計画について

問 ①未利用財産活用の方向性は②学校やスポーツセンターの建替

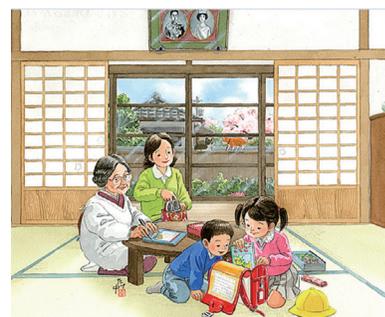
え・新設への考えは③区に文化学習施設が少ないことへの見解は。

答 ①将来的な行政需要や活用状況等を考慮し検討②丁寧な課題解決と早期の整備に取り組む③全庁的な議論を通じ検討を進める。

多様性への配慮について

問 過剰な多様性への配慮は社会のバランスを崩しかねない①多様性を尊重する社会づくりへの見解は②クォータ制導入の考えは。

答 ①ジェンダー平等推進行動計画改定に向け区民と共に議論し多様性への配慮も検討。過剰な配慮で対立・不公平感を生まないように留意②附属機関等の男女比率に目標はあるがあくまで基準。職員採用やその他でも制度としてのクォータ制導入は考えていない。



出所：議員本人提供(©竹中俊裕)

Q&A

代表質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

公明党議員団

米田 かずや



今後の区政運営・令和7年度予算・組織変革

問 ①社会経済状況等を見据え行財政運営や諸課題にどう取り組むか②7年度予算編成の考え方は③官製談合事件を受け、どのように組織風土改革を行い、区議会との関係性を構築していくのか。

答 ①物価高騰対策を最優先とし地域実情に即した施策で魅力あるまちをつくる②目指すべき姿に向けた現状や課題等を整理し複数年度の視点を持って取り組んだ③職員間交流の活性化や帰属意識の向上を図る。議会とは建設的な議論により共に区政を進めたい。

本区の重層的支援体制整備事業について

問 相談支援関連事業の一体的な実施で対象者と社会の繋がりを築く支援を早期に進められる重層的支援体制整備事業を実施しては。

答 区は重層的支援体制整備事業の構成事業のほとんどを既に実施。庁内横断的な連携方法等、引き続き支援体制構築を検討していく。

授乳・搾乳室、学童クラブ、障害児施策について

問 ①授乳室でも搾乳しやすい工夫等の環境づくりを②夜間延長保育の拡充や小学生の朝の居場所づくりへの見解は③障害のある子どもたちが参加できるような文化・スポーツのプログラム実施を。

答 ①区施設や民間協力施設に搾乳利用可能表記を要請②必要に応じ延長保育利用ができるよう検討③関連プログラムの充実を図る。



日本維新の会千代田議員団

春山 あすか



住民中心の柔らかい公共とスマートシティ政策

問 住民発意での地域課題の解決には、分かりやすい柔らかな用語を使った行政の支援が必要。共通するデジタルプラットフォームの基盤の下、エリアごとにそれぞれデジタルの活用を進めては。

答 住民主体のまちづくりは地域発展の原動力であり、実現には幅広い区民意見を収集し、ニーズや期待の可視・共有化が必要。まずは番町地区で地域主体のまちづくりの検討を支援していきたい。

2050に向けた世界水準の協働型環境政策

問 2050年ゼロ・ウェイストの実現に向け、清掃事務所以外の部署

と連携を。循環型経済の実証実験を行う、海外事例等にならう等、区の実践は住民が楽しめるわくわくするものであってほしい。

答 70項目の取組みを全庁的に実施。独創的で実現可能なアイデアを幅広く募集し、区民の意識を高め地域全体でごみ削減を進める。

可変、混在、多様性を受容する公共・都市政策

問 公共・都市政策は計画した時に固定化するのではなく、時間軸に合わせて可変的に、混在も可とするように取り組むべき。

答 多角的に施設の在り方や空間の創出を検討することは肝要である一方、公共施設では機能に応じた個別検討も必要。施設の権利関係者とのような協議が必要か等も含め、研究を深めていく。



議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会、議会運営委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。

区議会ホームページで日程をご確認の上、区役所8階の議場傍聴席、委員会室へお越しください。

取材等で撮影や録音をご希望の場合はあらかじめ申請が必要です。開会前に時間に余裕を持って区役所7階の区議会事務局で申請をお済ませください。



議会の傍聴はインターネットでも!

インターネット中継

区議会ホームページの「インターネット中継」で本会議や委員会等のライブ中継や録画映像が視聴できます。録画映像は会議開催の1~2開庁日後を目安に、速報版としてライブ中継そのままの映像を公開しています。また、会議開催の2週間後を目安に、議事日程ごとに映像を編集し直して改めて公開しています。

右の2次元コードや区議会ホームページからご覧ください。



文字配信

インターネット中継の音声がかえづらい方のために、本会議の内容を文字配信しています。下の2次元コードや区議会ホームページからご覧ください。



※発言取消などで映像の加工が必要になった場合は公開が遅れることがあります。

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

小林 たかや (自民党)



旧外神田住宅解体と跡地活用は

問 ①暫定活用ではボール遊びが可能な遊び場の整備を②解体前の建物シャッターや建築中のフェンスに児童の絵画を掲示しては③跡地は小学校や幼稚園に隣接。子ども関連施設での活用が望ましいが。

答 ①本格活用の検討に時間を要する場合は子どもの遊び場等も含め検討②学校や工事の状況等から慎重に検討③子ども関連施設を含め関連部署と協議し検討する。

区道の陥没事故対策について

問 ①本区での路面下空洞調査の現状は②専門技術者の確保や育成計画は適切に行われているか③AIを活用した点検データの分析や劣化予測システム導入の予定は。

答 ①5年ごとに全区道をレーダー探査で調査、異常があれば直ちに補修②業務量に必要な人員を計画的に確保、研修等で人材を育成③AIは既に試験的に導入、今後は最新技術の本格導入を検討していく。

田中 えりか (国民)



地域活動への区民参加推進

問 他自治体の充実した事例も参考に広報やSNS等を活用し地域活動を周知しては。

答 区HPでの町会等に関するコンテンツの刷新と体系化等で情報の充実を図るほか、広報やSNS等も活用し周知を図っていく。

持続可能な町会に向けた支援

問 ①町会加入率低下や活動の担い手不足への見解は②オンライン加入手続きやデジタル回覧板アプリの導入、地域の掲示物をウェブ掲載する考えは③地域資料のアーカイブ化等、デジタル面での支援は。

答 ①町会は地域コミュニティの核であり加入促進等町会の持続可能性の維持は喫緊の課題と認識②ニーズや課題を踏まえて研究③区が収集する貴重な文化財や図書を中心に資料のデジタルアーカイブ化を推進しており、町会が保有する記録等についてはニーズを把握した上で町会運営のデジタル化支援の中で研究していく。

えごし 雄一 (公明)



防災対策・災害時の安否確認

問 災害時に公的救助がすぐに届くとは限らないため、地域での安否確認が重要①安否確認訓練や各家庭に安否確認ボード等のツールを提供することも有効。地域での安否確認の進め方について区の見解は②防災アプリでの安否確認やシステムでの関係団体との情報共有は可能か。

答 ①重要な課題と認識している。他自治体の取組みを調査研究する②防災アプリには安否確認機能があり、今後、様々な機会に周知を図っていく。また、関係機関との連携はシステム会社と調整中。

ペットとの同伴避難場所の確保

問 避難所へのペット同伴避難が可能とはいえ、各避難所で具体的な飼育場所の検討は進んでいない。安心してペットと避難できる環境づくりを進めていくべき。

答 他事例も参考にして各避難所運営協議会でより具体的な話し合いを提案していく。

白川 司 (自民)



神田警察通り整備工事の遅延に対する対策について

問 ①工事の遅延は議員側の責任も痛感しており、できる限りの支援は惜しまない。工事を前に進める行政側の覚悟はどれほどか②本区において樹冠被覆率低下による抗議が過去に起きたか③HPや広報紙に留まらず、SNS等での情報発信が必要では。

答 ①裁判所で区の主張に沿った判断が示され、地域からの整備を待ちわびる思いも肌で感じている。不退転の決意で工事を前に進めていく②これまでになかったと認識③正確な情報伝達のためにも適宜適切にSNS等を活用した発信が必要と認識。



出所:議員本人提供

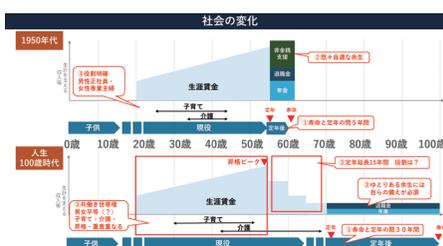
ふかみ 貴子 (次世代)



デジタル時代の民主主義

問 1950年代の標準世帯モデル(夫婦と子ども2人)を前提とした社会制度は、本区で57%が単身世帯となった今の実態と乖離している。人生100年時代を迎え「支え合いの単位」は、家族から地域へ移ることが求められている。AIで区民の声を可視化し、地域実情に即した制度を自治体主導で再設計することが、ブロードリスニングを活用したデジタル時代の民主主義と考える。これらは人的負担なく実現可能と考えるが、本区で概念実証(PoC)を行う可能性はあるか。

答 効率化と高度化の両面から効果が期待できると認識しており、活用を検討する。



出所:議員本人作成

おの でら 亮 (次世代)



高い中学受験率／給食費給付を

問 ①中学受験に臨む親子の負担に対するケアは②区立校の魅力向上等、公教育への考えは③子どもが通う学校の種別を隔てることなく給食費相当額を支援すべき。

答 ①受験期のカリキュラムや宿題を調整。スクールカウンセラーと連携したケアも実施②公教育の役割を大切にし各校の教育活動が魅力的になるよう支援③一定程度の必要性を認識。支援の在り方を検討。

猛暑対策に日除パラソル設置を

問 ①猛暑に備えた区の対策は②神保町交差点に設置した日除パラソルの効果と評価は③より機能的なパラソルの区内全域設置等、新たな猛暑対策の検討状況は。

答 ①ヒートアイランド現象緩和の取組み強化が必要。適応策及び緩和策の両面で対策を推進②熱中症対策に効果があったが、交通への影響や安全対策が課題③課題を踏まえ公園等の設置場所拡大を検討。

Q&A

一般質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

桜井 ただし

(自民)



松本訓導の勇敢で献身的な行動と本区への対応について ほか

問 ①区は松本訓導をどのように把握してきたか②井の頭公園にある千代田区有志が建立した石碑を本区の文化財相当として扱えないか③松本訓導の勇姿は教師の鑑であり、子どもたちに伝え続けるべき。

答 ①区教育百年史での詳述等、本件を伝える刊行物がある②区外のため区の文化財指定は困難だが、国や都の指定可能性を確認する③教育部門と連携し検討する。

松本訓導の殉職

大正8年(1919年)、永田町小学校の遠足で井の頭公園に行った際、1人の児童が玉川上水に落ちた。教員(訓導)の松本虎雄氏は危険を顧みず救助に飛び込んだが、急流にのまれて33歳で殉職した。

牛尾 こうじろう

(共産党)



中高生の居場所の設置を

問 中高生が心置きなく勉強でき、友達と話し、運動できる場所が必要。学校建替えを機にした設置や利用頻度が低い区施設の開放等で中高生が集える場所を。

答 場所だけでなく見守りや支援の体制確保等様々に課題がある。各児童館が連携した効率化の検討、遊び場事業での中高生専用時間帯等を準備、移転後の四番町児童館での中高生タイム等、充実を図る。

国保料子どもの均等割を無償に

問 国保世帯では子どもが生まれるたびに均等割保険料の負担が自動的に増える。理想の人数の子どもを産み、育てられることを区が目標とするなら、子どもの均等割保険料を無償にすべき。区の考えは。

答 国保制度は被保険者全体の相互扶助が基本。特定の者への画一的な減免は難しいが、区政の子育て支援策は国保の枠に限らず総合的に執り行うものと認識。

林 則行

(自民党)



区民歯科健診のこれまでと未来

問 令和5年度の受診率は10%まで上昇したが道半ば①今後の目標値は②歯と口腔の健康づくり推進条例の成果と課題は。

答 ①健診はかかりつけ医を持つきっかけづくりと考えている②歯と口腔の健康が高い水準になった。課題は更なる受診率向上や意識啓発の強化等。



民泊と、静かな住環境

問 区の民泊条例の施行から7年余り経過①周辺住民等からの苦情や相談件数と内訳は②違法民泊の立入調査数と効果は。

答 ①令和6年度1月末までに11件、匿名もあり通報者の内訳は把握していない②調査は62回、6施設を営業中止させた。

小枝 すみ子

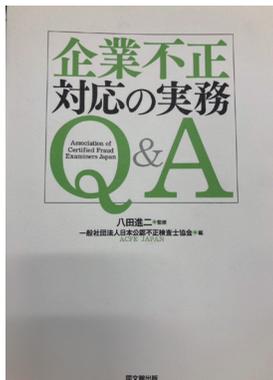
(声)



官製談合事件の真相

問 ①元副区長の関与は②事情聴取の報告義務条例化を③区の仕事を請け負う弁護士が事件関与職員の相談に乗るのは利益相反では④関係者ヒアリングの有無は。

答 ①裁判所で共謀が認定されなかった事実を尊重すべき②人権侵害の懸念等により不適切③弁護士を区は承知していない④前副区長、元議長、前政経部長、元区議会事務局長へは委託弁護士が実施、現副区長は関与する立場になく実施せず。



出所:議員本人提供

健康で幸福なまちづくり

問 区は健康で幸せなまちづくりをどう考えているのか。未来志向での考えを伺う。

答 理解と思いやりあるまちづくりを推進。

のぞわ 哲夫

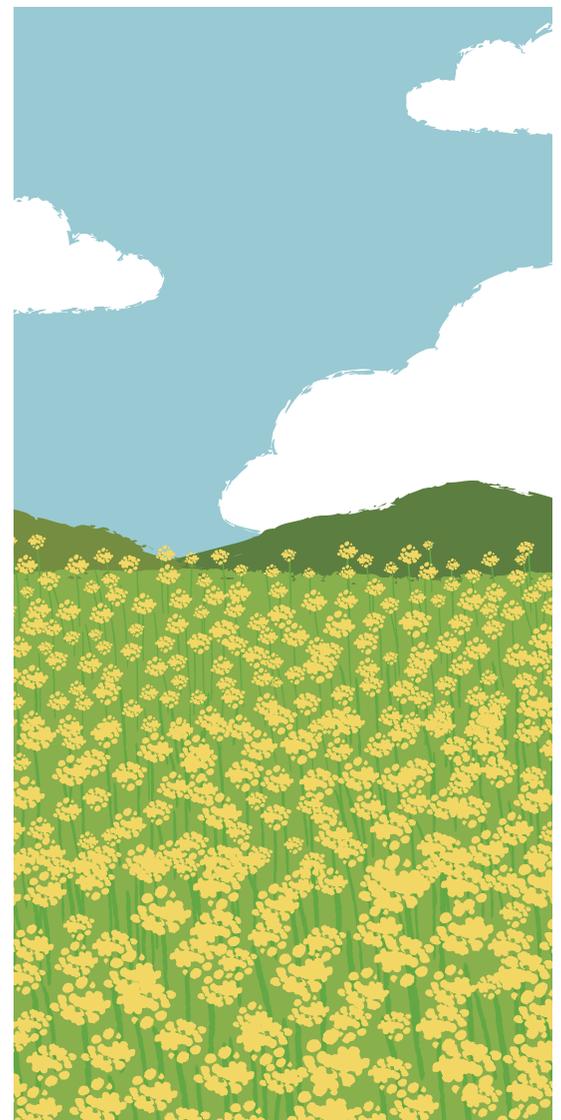
(維新)



防犯カメラについての各種質問

問 ①取付けや管理等の補助率を100%にできないか②区立学校の通学路への設置は③補助対象を地域団体だけでなく法人・個人へ拡大を④区が保有管理する街路灯等への設置検討は⑤AI機能搭載防犯カメラと青パトを連携できないか⑥防犯カメラの映像データをAIで調査解析し、まちづくり等に活用研究を検討できないか。

答 ①全額補助は困難と認識しているが、犯罪の多様化、複雑化を考慮し町会等の負担率軽減を検討②令和7年度から設置予定③昨今の情勢から都や他自治体の動向を踏まえ検討④占用等の許可が必要だが、区が建物外に向けて設置する場合、個人情報保護の観点から運用基準の見直し等が必要であり、現在検討を進めている⑤秋葉原等、安全・安心について不安が高まっている地域における防犯の観点から採用の可能性を研究⑥様々な制約により難しいが、活用の可能性を研究する。



予算特別委員会

全議員で構成する当委員会に審査を付託された7議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

「令和6年度千代田区一般会計補正予算」ほか2議案について、多数の事項の質疑が行われ、次のような意見発表がありました。

〈討論〉

【賛成の意見】

物価高騰対策区民の暮らし支援事業については、一日も早く支援する必要があり、最善の方法により本事業を進めていく考えであることを確認した。区においては、区政の見える化、区の税金の見える化を確実に着実に進めることを求め、本議案に賛成する。【のざわ】

物価高騰対策区民の暮らし支援事業については、良い事業と評価する。一方、カード式を最善と考えたことによる意思形成過程は不透明であり、今の区政の在り方には問題がある。区においては、この問題にしっかり取り組むことを求め、補正予算案に賛成する。【小枝】

討論を終了し、採決の結果、令和6年度補正予算ほか2議案は、いずれも賛成全員で可決すべきものと決定しました。

「令和7年度千代田区各会計予算」の4議案は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、文教福祉、環境まちづくりの3つの分科会を設置し、詳細な調査を行いました。その後、総括質疑で多数の事項の質疑が行われ、次のような意見発表がありました。

〈討論〉

【反対の意見】

本予算案では、給付制奨学金の創設や学用品の無償化、高齢者の住宅支援策など区民の声に応える施策が盛り込まれ、子どもの入院給食費無償化に踏み出すことは評価する。しかし、予算全体は格差と貧困を広げるもの。中高生応援手当は、生活保護世帯が受け取れない。非課税世帯が受け取ると、課税世帯になるなど低所得者への配慮がない。国保料は1万円近く負担増。区営住宅の増設や家賃補助拡充にも応えない。低所得者への支援の強化とともに、まちづくりでは住民への十分な説明と、住民同士が十分に納得できる対話の場を区として位置付けることを求め、予算案に反対する。【牛尾】

一人の区議が刑事確定記録を閲覧し、内容を議会に報告、共有しようとしたのは、元副区長が関与したと認めうる事実は確認できなかったとする報告書の結論が、事実と反したことの立証である。専門家会議は、元副区長へのヒアリングをしていながら、異なる報告書を発表したとすれば問題となる。区がミッドタウン日比谷エリマネに広場を無償で貸し付け、これに対する元区議の努力で訴訟を貫き、区民の財産、余剰金を区民のものと確認した覚書を締結しながら反省の弁もない副区長の姿勢に権力の横暴を感じた。区民にとってより良いことを進めることを要望し、本予算案に反対する。【小枝】

区の官製談合事件後の対応がすこぶる悪い。公的な書類に元副区長の関与が明記されているのに、それすら認めようとしていない区には、組織ぐるみの罪を犯していた疑念が晴れない。公民権停止中の元区議に投票所入場整理券を一度ならず二度までも半年間にもわたって送付していたことについても、区長は自ら責任を取るところか、何の発言もせず、部長も区長も何の責任も取ろうとしない。追求する議員に対し、質問権を制約し、行政に不都合な質問を封じようとする区長からの書面交付という暴挙。この風土は根本から変えなければならない。よって、本予算案に反対する。【岩田】

【賛成の意見】

本予算案は、「子ども・子育て支援施策」、「高齢者施策」、「持続的に発展するまちづくり」、「デジタル技術の活用」の4つのテーマを掲げ編成され、具体的事業として、①出産・子育て支援②中高生世代応援手当③給付型奨学金④いじめ、不登校防止プロジェクト⑤認知症支援サービス⑥高齢者等住まい・生活支援、サポート事業⑦産業コミュニティ形成支援事業⑧DX・GXの取組み⑨外濠の水質改善対策⑩食品ロス削減の推進⑪防災対策の推進などが評価できる。区民の声を聴きながら、希望をもって区に住み続けられるよう事業に取り組むことを強く要望し、本予算案に賛成する。【えごし】

今回の委員会では、限られた議員が長時間にわたり質問をし、持論を延々繰り返すような質問が散見された。議員は、質問の論点を絞り、区民にも分かりやすいように簡潔に訴えようとする義務があると考え、それを無視するようでは、議員としての資質に欠けていると言われても仕方がない。議会の現実を区民に知っていただくべきで、今後はしっかり発信していくつもりである。本予算案の質疑では、懸案である神田警察通りの整備工事の推進について前向きな答弁があった点を高く評価する。それを踏まえて提出議案に賛成する。【白川】

本予算案では、重点施策として、子ども・子育て支援施策、高齢者施策、持続的に発展するまちづくり、デジタル技術の活用、組織変革の推進の5つが掲げられた。地域コミュニティの活性化は、細やかな取組みが予定されており、地域、町会に寄り添ったプログラムになると期待できる。子ども子育て世代支援策は、出産、育児、学びの支援策・課題解決施策が盛り込まれた。特に支援が薄かった中高生世代に焦点を当て、月額1万5千円を支給する中高生への経済的支援は、画期的である。第4次基本構想が掲げる将来像の実現のため、組織変革の推進に期待を込めて、本予算案に賛成する。【入山】

子ども・子育て支援施策、高齢者施策、文化スポーツ芸術・地域振興・地域コミュニティの推進、デジタル技術の活用施策を軸とした予算編成は、区民の暮らしを支える重要な取組みであると考え、賛意を表明する。全区民に対する一律支援策の拡充、地域経済の活性化と区民生活の安定を図るなど、住み続けたいまちとしての魅力を維持するためにも、区が主体的に税の増収分を納税者に還元すべく、税金を使う側ではなく納める側の立場に立った全区民応援支援策の充実を強く求める。これらの施策が区民一人ひとりの安心と豊かさにつながることを期待し、予算案に賛成する。【田中】

まちづくり支援ステーションの構築や地域のスマート化、デジタル化の推進、子どもカルテの作成、公立・私立に関わらず子ども達の声を聴く仕組みを作ること、高齢者の新たな地域の居場所づくり、次世代型ソーラーセル等の活用検討開始等、区民生活の安心と幸せに繋がる事業への取組みを評価する。区民に対しては、予算の公平性・公明性が担保されていることを明らかにする必要があり、DXの更なる推進により、税の流れの可視化、行財政の可視化を進めることが不可欠である。区民の豊かさにつながるCitizen-Centricな行政を目指し、ボトムアップ型の体制づくりを求め、予算案に賛成する。【春山】

予算質疑において、公園・児童遊園の整備では、飯田橋こどもの広場について詳細な調査が行われない中、機能特化型の施設整備を行うことが明らかになった。限られた区有地の有効活用が求められる中、精緻な需要調査と検討の積上げが必要と考える。予算執行にあたっては、正確な区民ニーズの把握に努め、その結果を踏まえ一旦立ち止まる勇気も必要であることを指摘する。箱根千代田荘と軽井沢少年自然の家については、解体設計予算が計上されている。これまでの決議や議会での議論を踏まえ、一日でも早く区民のために活用されることを期待する。執行機関には、区民代表である議会への更なる丁寧な説明・報告を求め、本予算案に賛成する。【池田】

討論を終了し、採決の結果、令和7年度各会計予算4議案は、いずれも賛成多数で可決すべきものと決定しました。

定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案26件のうち17件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は12ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

議案7件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例」は、高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する者を活用するため、特定任期付職員の採用及び給与の特例に関する規定を定めるほか、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

現時点で区の採用予定はなく、まずは制度を構築し、需要が発生した際、早くに対応できるよう条例改正すること。想定する職種は、法務、会計、デジタル等であり、高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する者を採用募集した際、民間給与との差があるため人材の確保が難しいと特別区長会で議論があり、今回の制度改正に至ったこと等が明らかになりました。

「財産(建物)の取得について」は、老朽化し、耐震性に問題のある旧区立外神田住宅の解体に向けて、当該住宅の1階及び2階の区分所有部分を取得するもので、取得対象となる区分所有部分は1件、取得価格は、5,189万5,000円です。

〈審査経過〉

議決としては今回が最後の区分所有者で、前回議決した区分所有者も含め、引き続き交渉しているところであり、丁寧に協議の上、売買契約に進みたいと考えていることが明らかになりました。

その他、「千代田区職員等公益通報条例等の一部を改正する条例」等5件を審査しました。

文教福祉委員会

議案9件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区中高生世代応援手当条例」は、中高生世代の子育てに係る経済的負担を軽減し、安心して生活できるよう支援することを目的とした「中高生世代応援手当」を支給するため、条例を制定するとともに、関連する条例の規定を整備するものです。

〈審査経過〉

本手当は雑所得であり、課税対象となりえることから、税処理関係について丁寧な周知を図ること。また、子どもに対する直接給付とすることについては、情報の共有等を図りながら十分に研究されること等が明らかになりました。

〈討論〉

【賛成の意見】

中高生を持つ家庭への経済的支援は必要であるが、非課税世帯がこの収入を受けるとどうなるのか等について議案提案時に検討が不十分であったことは残念に思われる。しかしながら、今後そのような世帯への相談対応、支援について様々検討していくことも確認できたため、本議案に賛成する。

【牛尾】

議案提案時の説明資料、関係部署等への事前確認が不十分であったこと等は指摘せざるを得ない。子どもへの直接給付の検討、丁寧な相談等の対応、現金給付だけでなく「中高生の居場所づくり」の検討を十分に進めることを申し入れ、本議案に賛成する。

【池田】

その他、「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」等8件の議案を審査しました。

環境まちづくり委員会

議案1件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区道路占用料等徴収条例等の一部を改正する条例」は、道路占用料等の算定基礎となる固定資産税の評価替えに伴い、道路占用料、公共溝渠使用料及び公園使用料を改定するほか、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令」の一部改正に伴い、都市公園条例の関連する規定を整備するものです。

〈審査経過〉

令和7年度道路占用料歳入見込み額72億9,400万円のうち、インフラに係るものが67億6,800万円余で、大半を占めていること。電線類地中化に関わる管路は、電力会社等が独自に埋設している場合は9分の1、電線共同溝の場合は10分の8の減免措置を講じているため、電線類地中化が進んだ場合、道路占用料の歳入額は減額していく見込みであること。令和5年度道路占用料決算額63億4,300万円余のうち、看板類に係るものが6,130万円余であること。看板類は、道路と私有地の境界線から出ている、上空であっても占用料の対象となり、その料率は階高に関係なく一律であること。看板類に係る道路占用料の算出単価は毎年上昇しているが、減免単価として長らく5,760円に抑えけるとともに、占用面積についても減免の措置を取ることで、2段階で負担軽減していること等が明らかになりました。

その他、千代田区公園づくり基本方針(素案)、環境配慮行動宣言制度及び千代田エコシステム推進協議会の見直し案等について報告がありました。



定例会活動報告

特別委員会

デジタル・トランス フォーメーション 特別委員会

千代田区DX戦略の改定に向けて、令和7年1月に実施したパブリックコメントの結果について報告がありました。今後は、策定に向けて庁内手続き等を進め、令和7年4月に改定を予定していると説明がありました。

その他、地域が主役となり、地域の課題をデジタル活用で解決することを目的に、令和6年度実施した「デジタル活用提案制度」を発展させ、令和7年度は区内在住の中学生を対象に公募し、区民参加型のデジタルプロジェクトを実施していくこと。情報セキュリティの取組みについて、これまでの取組みに加え、新たに電子データの取扱いに関するルールを策定し、クラウド活用研修を実施する等、組織的、技術的、人的対策に充実を図ってきたこと等の報告がありました。

文化継承・ コミュニティ活性化 特別委員会

令和5年12月と令和6年7月に開催された2つの勉強会の集約のため、委員間で意見交換等を行いました。

「神保町、本のまちの継承」については、企業と開発事業者、商店街等が連携するテーブルをつくることは有効であり、それに向けて区がどのような支援策を考えていくかが課題として認識されていること。

「震災101年と桜の継承」については、委員会での意見を①桜を植え替える、増やす、②桜に関連する事業等ソフト面の充実、の大きく2つに分けてまとめ直すこと。

次回以降は、今回議論された内容を集約し、委員会としてまとめることを確認しました。

公共施設調査・整備 特別委員会

令和7年度子どもの遊び場事業について報告がありました。

令和6年度との主な変更点として、ふじみこどもひろばの乳幼児広場は通年で午前9時～午後5時に実施すること。また、夏期・雨天時は空調管理できる旧九段中の体育館で実施すること。子ども広場で実施してきた事業は旧九段中の校庭及び体育館で通年午前9時～午後5時に実施すること。衆議院より通年で借用していた子ども広場は必要に応じて借用すること等の説明がありました。

質疑の中で、遊び場事業は全庁的な課題であり、どういう遊び場が何か所必要か、年代別の区分けをどうするのか等遊び場のものの在り方や情報の一元化について、今後子ども部が中心となりながら全庁的に取り組んでいくこと等を確認しました。

契約にかかる 不正行為等再発防止 特別委員会

契約にかかる不正行為等再発防止策の検討を進めるために開催したコンプライアンス・政治倫理研修会について、振返りのため、委員間で意見を共有しました。継続的に研修を行う必要があること、議員としての自覚、高い倫理を持つということが必要であること、定期的に研修を行うことが再発防止につながるという意見がありました。

また、コンプライアンス研修、政治倫理条例、議会基本条例などの今後の取扱いを確認するとともに、委員会で申請している刑事確定記録の閲覧手続きについては、複数回、東京地方検察庁に確認しているが、閲覧時期などは未定であるとの報告を受けました。委員会では、閲覧許可が下り次第、速やかに委員会を開催することを確認しました。

可決した意見書

東京23区内に火葬施設を 設置することを求める意見書

討論の録画映像は
こちらから



東京23区内における火葬施設の不足は、少子高齢化や人口動態の変化に伴い、ますます顕在化している状況です。火葬料金は急騰しており、23区では9万円と突出して高額で、全国88都市の平均である約1万円と大きな乖離があります。

現在、23区の公営火葬場は2カ所しかなく、そのうち大田区の臨海斎場は港区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区の5区が共同設置したもので、基本的にそれらの区民が優先されます。

民間の火葬場は、7カ所のうち6カ所が同一企業の運営のため、この運営会社が最近、外国系資本に買収されて以降、物価高騰の影響も重なって火葬料金や休憩室料金が大幅に引き上げられ、他地域と比較しても非常に高額な利用料金が課されています。その上、順番待ちが長く希望通りに葬儀ができない状況が続いています。

火葬場は公共性の高い施設であり、その利用料金の高騰は多くの区民にとって深刻な影響を及ぼしています。単独自治体では対応が困難なため、東京都へ早急に公営火葬場の設置を進め、料金の高騰抑制と混雑緩和のための対策を求めるものです。

つきましては、東京都に対し、以下の3点を強く要望いたします。

- 1 近隣区と協力・連携して運用できる、都心臨海部の所有地を活用した広域的に利用できる新たな火葬施設を設置し、住民の利便性と負担軽減を図ること。
- 2 環境負荷に配慮した施設設計を行い、地域社会と調和する形での施設運営を目指すこと。
- 3 単独の自治体では火葬場の設置は困難なため、近隣自治体との協力体制を整備し、23区同一料金での利用を可能にすること。

区民の福祉と利便性の向上を図るため、東京都が迅速かつ具体的に対応を進めていただくよう、強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

(提出先) 東京都知事



12月～2月の主な活動 (12月4日～2月25日)

月/日	日程
12/10	政務活動費交付額等審査会
19	環境まちづくり委員会
25	企画総務委員会
	議会運営委員会
	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
1/22	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
23	企画総務委員会
24	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
	議会運営委員会

月/日	日程
2/6	政務活動費交付額等審査会
14	議会運営委員会
	全員協議会
17	企画総務委員会
	環境まちづくり委員会
18	文教福祉委員会
19	〈令和7年第1回定例会 告示日〉 議会運営委員会
25	議会運営委員会



委員会で取り扱った請願・陳情 (令和6年12月4日～令和7年3月27日)

詳細は、区議会ホームページで
ご覧になれます。



請願・陳情名 (受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和7年3月27日時点)
外神田一丁目再開発のエリア内の区有施設の情報共有に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発提案に関し事業者と地域住民間の調整を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地の再開発に伴う二番町地区計画変更に関連し、区議会及び都市計画審議会において住民・事業者双方からの直接意見聴取等を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地再開発に伴う二番町地区地区計画変更に関連して区議会及び都市計画審議会の速やかな審議と反対住民の審議遅延行為に毅然とした対応を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
陳情書「二番町日本テレビ本社跡地再開発案に関して、地域住民の意見を出来る限り正確に把握していただきたいこと」について。	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更について「陳情書」	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発の意思決定プロセスに対する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画変更に関する影響調査実施に関する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発案に対する民意の把握を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田清掃事務所及び千代田万世会館の機能更新等に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発による地域活性化を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発の直近の事業計画案を示すよう求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
(1) 二番町地区地区計画変更案に対し実施された都市計画法16条及び17条意見書の集計・報告の正確さと公平さに関する調査、並びに (2) 今後の再度実施される16条・17条に基づく意見書における募集手続き及び集計・報告の正確性と公正さを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例審査前に公共施設である清掃事務所について区民から意見を聞き大方の区民意見を取り入れることを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区二番町地区計画変更に対する区議会環境まちづくり委員会並びに都市計画審議会の委員による充分なる検証実施の陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に関して、住民への詳細説明及び都市計画法第16条第1項の公聴会の開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に係る説明会及び意見書の取り扱い方に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画の変更について、広く番町・麹町地域の地域住民を対象とする説明会を至急開催することを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の早期変更を要望する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画変更においてサイレントマジョリティである子育て世代の意見を聞き、未来の子供たちのための前向きな議論を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画早期変更に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
教育環境を守る要望書を区議会で受け止め、慎重に審議を進めること求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画法第17条に基づく「二番町地区地区計画の変更に係る説明会」および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査



委員会で取り扱った請願・陳情 (令和6年12月4日～令和7年3月27日)

請願・陳情名 (受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和7年3月27日時点)
「都市計画法第17条に基づく『二番町地区地区計画の変更に係る説明会』および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情 (送付5-54)」に関する追加の陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画法第17条に基づく二番町地区地区計画の変更に係る意見募集に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目計画について手続きの調査を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
工事契約に関する議員の関与について真相解明を求める陳情書	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
不祥事に関する迅速な状況把握と再発防止に関する説明、区民をはじめ多様な人が話し合っ決めてまちづくりの実現を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
東京都市計画地区計画 二番町地区地区計画(変更)に関する意見書についての調査と提出のやり直しを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
泥沼にはまった千代田区を助けるための調査をお願いする陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
区が瑕疵のない真実を報告するよう指導を求める陳情書	議会運営委員会	審査終了
神田警察通り道路整備工事、2期工事の中断と整備内容の変更を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察署通りの街路樹を守る会のメンバーに対する仮処分の申し立て件についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区議会議員政治倫理条例の制定を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会	継続審査
千代田区都市計画審議会における「二番町地区地区計画の変更」の採決の法的問題点の確認を議会から区に求めている陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
異議申し立て中の神田警察通りイチョウ伐採についての陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区「道路の移動等円滑化の基準」の歩道の有効幅員について、東京都と同様、附則に「やむを得ない場合」の経過措置を設けることを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画審議会による「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の優先事項の確認と、実効性ある実施を議会から区に求めている陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通り沿道整備推進協議会の委員を多様性と男女共同参画の視点から早急に見直すことを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
自転車道と歩道拡幅工事について4期、5期を早期に開始して下さい。	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画附帯決議の実行についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の「全ての関係者が」話し合える場づくりの開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りの街路樹に関わる経緯の再整理と代替案を提案する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
区内地域格差・各町会の特性を思索した「地域コミュニティの形成と継承」を思考する特別委員会の設置を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
千代田区における住宅確保要配慮者への支援体制についての陳情	文教福祉委員会	審査終了
請願書・陳情書のオンラインでの提出を可能とするよう再度求める陳情書	議会運営委員会	審査終了
千代田区内のオーバーツーリズムへの緊急かつ抜本的な対策を求める陳情書	企画総務委員会	審査終了
陳情書 万世橋区民館ジョイントマット常設の件	企画総務委員会	審査終了
選択的夫婦別姓制度の法制化を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
千代田区における住宅要配慮者に対する支援について	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町計画の附帯決議に基づく適切な「前向きな話し合いの場」をお願いする陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区再開発に係る陳情の取扱いに関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区再開発に関する話し合いの場に係る陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区の官製談合事件の真相究明のために、第三者委員会もしくは百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
路上喫煙の取り締まり強化を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
区ホームページ「神田警察通りの道路整備事業の進捗について」の削除に関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
〇〇〇〇〇〇の操業停止を求める陳情書 ※固有名詞を伏字にしています。	環境まちづくり委員会	審査終了



議案の審議結果等 (令和7年第1回定例会)

可(可決) 否(否決)

○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

議員名等 ※議員名の下段は、会派名略称	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
						西岡めぐみ 自民党	大坂隆洋 自民党	のざわ哲夫 維新	小枝すみ子 声	えごし雄一 公明	米田かずや 公明	牛尾こうじろう 共産党	岩佐りょう子 次世代	小野なりこ 次世代	池田ともり 自民党	はやお恭一 自民党	春山あすか 維新	欠員	白川司 自民	永田壮一 自民	入山たけひこ 次世代	田中えりか 国民	岩田かずひと 次世代	小林たかや 自民党	林則行 自民党	ふかみ貴子 次世代	桜井ただし 自民	秋谷こうき 次世代	おのであら 次世代	富山あゆみ 次世代		
議員提出議案	東京23区内に火葬施設を設置することを求める意見書	24	23	14	9	可	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	3/27	
区長提出議案	千代田区行政監察員の選任の同意について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27	
	千代田区行政監察員の選任の同意について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	令和6年度千代田区一般会計補正予算第3号を専決処分により決定した件の報告及び承認について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/17
	令和6年度千代田区一般会計補正予算第4号	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/17
	令和6年度千代田区介護保険特別会計補正予算第1号	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/17
	令和7年度千代田区一般会計予算	24	23	20	3	可	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	令和7年度千代田区国民健康保険事業会計予算	24	23	21	2	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	令和7年度千代田区介護保険特別会計予算	24	23	21	2	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	令和7年度千代田区後期高齢者医療特別会計予算	24	23	21	2	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区職員等公益通報条例等の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区次世代育成に係る手当に関する条例を廃止する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区中高生世代応援手当条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区子ども医療費助成条例及び千代田区高校生等医療費助成条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	24	23	21	2	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	千代田区道路占用料等徴収条例等の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27	
千代田区立少年自然の家条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27	
財産(建物)の取得について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/27	
報告	雫子橋補修補強工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										3/6					
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																										3/6					
	専決処分により損害賠償額の決定をした件について																										3/6					

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数24名
 ◇ 会派名 #次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代) / 千代田区議会 自由民主党(自民党) / 千代田区議会自由民主党議員団(自民) 公明党議員団(公明) / 日本維新の会千代田議員団(維新) / 日本共産党(共産党) / 国民民主党(国民) / ちよだの声(声)

令和7年第1回臨時会 令和7年第2回定例会の主な日程

5/16(金)	令和7年第1回臨時会 告示日
5/23(金)	招集日
6/4(水)	令和7年第2回定例会 告示日
6/11(水)	招集日
6/24(火)	代表・一般質問
6/25(水)	一般質問

※日程は変更となる場合があります
 ※詳細は区議会ホームページをご覧ください



区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎岩佐りょう子(次世代) | えごし雄一(公明)
 ○富山あゆみ(次世代) | 牛尾こうじろう(共産党)
 西岡めぐみ(自民党) | 白川司(自民)
 のざわ哲夫(維新) | 田中えりか(国民)

はまもりかおり氏の失職により、編集委員会の構成が変更になりました。

※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式X(旧Twitter)」も発信していますので、ぜひご利用ください。

QRコード | ホームページアドレス
<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>

メールアドレス | QRコード
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

QRコード | 公式X(旧Twitter)
 @Chiyoda_Kugikai

